

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
情報エキスパート Computer Expert		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(「(国家資格) ITパスポート試験」の受験対策用科目である。)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
亀田和則	講義棟2階	月曜日		授業中に指示します
授業の概要				
ITパスポート試験の「ハードウェア」「ソフトウェアとマルチメディア」「アルゴリズムとプログラミング」に関して、学習する。				
授業の目標				
①カテゴリ「ハードウェア」の中で扱っている専門用語の意味を、他者に説明できるようにする。 ②カテゴリ「ソフトウェアとマルチメディア」の中で扱っている専門用語の意味を、他者に説明できるようにする。 ③カテゴリ「アルゴリズムとプログラミング」の中で扱っている専門用語の意味を、他者に説明できるようにする。				
授業の方法				
①基本的にはプロジェクトを使用した講義で専門用語の意味を説明し、理解を深めるために演習も行う。 ②演習について理解度の確認を3回実施する。定期試験を実施する。 ③毎時間、「亀田授業シート」を提出する。 ④スケジュールを変更する際には授業にて連絡する。				
学習の成果(学習成果)				
授業の目標を達成すると、「ITに携わる業務につく」「担当業務に対してITを活用していく」ための幅広い知識を習得し、その知識を他者のために活用できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(学習成果、成績評価)			
第2回目	第1章 情報の表現、5大装置とCPU、メモリとキャッシュメモリ			
第3回目	第1章 補助記憶装置、入出力インタフェース			
第4回目	第1章 確立			
第5回目	第1章 基数変換			
第6回目	【理解度の確認1と解説】			

第7回目	第2章 ソフトウェア、ファイル管理、バックアップ	
第8回目	第2章 表計算1、表計算2	
第9回目	第2章 表計算3、データ形式とマルチメディア	
第10回目	【理解度の確認2と解説】	
第11回目	第7章 アルゴリズムとデータ構造	
第12回目	第7章 並べ替えのアルゴリズム	
第13回目	第7章 プログラム言語	
第14回目	第7章 なぜ、プログラミング言語はたくさんあるの	
第15回目	【理解度の確認3と解説】	
事前・事後学習	授業範囲の「書き込み式ドリルの重要ポイントまとめ」を記述しておく。 授業で不明だった点は必ず次回授業までに調べておく。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート	20%	亀田授業シートが該当する。満点となる条件は「丁寧に書いてあり、一回読むと内容が理解できる」である。
調査報告書		
小テスト	30%	理解度の確認が該当する。試験1つあたりの配点は30点/3である。満点となる条件は「すべての答えが正解」である。
試験	50%	定期試験が該当する。満点となる条件は「すべての答えが正解」である。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：イメージ&クレーバー方式でよくわかる栢木先生のITパスポート教室、栢木先生のITパスポート教室準拠書き込み式ドリル 2冊 (情報エキスパート(1年)・情報ネットワーク基礎(1年)・情報セキュリティ基礎(1年)・情報基礎演習Ⅱ(2年)は同一教科書を使います)		
履修上の留意点・ルール		
教科書を購入していない学生はこの授業を履修出来ない。 2回の遅刻は1回の欠席となる。		